

吉野川流域のワーキングの報告

吉野川流域のワーキング

- 吉野川流域では、ワーキングを設置して、生息環境づくり、地域・人づくりの検討を進めている。生息環境づくりは、旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングにおいて、旧吉野川津慈地区河川整備事業地のよりよい湿地環境の創出並びに利活用や管理運営の具体化に向けた検討を行っている。また、地域・人づくりは、鳴門地区地域・人づくりワーキングにおいて、コウノトリが営巣・繁殖した環境を活かした魅力的な地域づくりや人材育成等の具体的な事業の推進に向けた検討を行っている。

生息環境づくりに関するワーキング

鳴門地区生息環境づくりワーキング
設置：2018年11月27日 解散：2023年1月10日 検討内容：旧吉野川津慈地区河川整備事業地の湿地環境が担う役割や、基本的な構造条件を検討し、整理した。
旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキング
設置：2023年6月6日 休止：2023年11月16日～ 検討内容：旧吉野川津慈地区河川整備事業地への民間活力の導入を検討した。サウンディング調査を実施したが、直接的な資金や人材に関する提案は得られなかった。本事業地の湿地創出のイメージができた段階で、再度サウンディング調査を実施予定であるため、本ワーキングは次期サウンディング調査まで休止としている。
旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング
設置：2024年1月31日 検討内容：旧吉野川津慈地区河川整備事業地の試験施工、本施工に関する事項、利活用や管理運営に関する事項、モニタリング、フィールドワークに関する事項を検討する。

地域・人づくりに関するワーキング

鳴門地区地域・人づくりワーキング
設置：2019年9月30日 検討内容：鳴門市におけるコウノトリが営巣・繁殖した環境を活かした魅力的な地域づくりや人材育成等の具体的な事業の推進や地域の課題について検討する。

第2回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング [報告]

- 2025年1月21日に第2回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングを開催し、旧吉野川津慈地区河川整備事業地及び旧吉野川で津慈地区以外に河道掘削が予定されている3地区（勝瑞・川崎地区、乙瀬地区、大寺地区）の現地確認を行った。

〈2024年度〉

第2回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング (2025年1月21日)

【主な内容】

- ・ 旧吉野川津慈地区河川整備事業地の現地確認
- ・ 旧吉野川で津慈地区以外に河道掘削が予定されている地区の現地確認



ワーキングの開催の様子

旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングメンバー

河口 洋一	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授
柴折 史昭	認定NPO法人とくしまコウノトリ基金 事務局長
樫本 幸実	日本ビオトープ管理士会徳島支部 理事
東條 秀徳	日本野鳥の会徳島県支部 支部長
谷地森 秀二	横倉山自然の森博物館 学芸員
井藤 大樹	徳島県立博物館 主任
大原 賢二	佐那河内いきものふれあいの里 ネイチャーセンター長
森田 椋也	徳島大学 人と地域共創センター 講師
佐竹 孝文	鳴門市産業振興部農林水産課 課長
辻 宏人	鳴門市環境共生部環境政策課 課長
長楽 浩司	藍住町建設産業課 課長

(2025.1.21時点)

第2回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング [報告]

- 第2回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングでは、下記の意見があった。

主な意見

旧吉野川津慈地区河川整備事業地について

- ・ 試験施工のモニタリング期間が、2年間と設定されている。植生の変化を確認するためには、もう少し長い期間が必要になるのではないか。

旧吉野川で津慈地区以外に河道掘削が予定されている地区について

- ・ 津慈地区での自然再生を通じて得られた知見を活用しながら、掘削断面等に関して議論ができるとよい。
- ・ 河道掘削とあわせて、ワンド状の環境をつくることできれば、様々な生き物が増えて、コウノトリが利用するかもしれない。
- ・ ワンドをつくる場合に、開口部が下流側を向いていると、ゴミが流入しにくい。
- ・ 旧吉野川では、中の島、ワンド、小さな支川の流入部で少しずつ魚類相が異なり、これらの環境が重要である。また、魚類の稚魚にとっては、流速が遅く、水深の浅い空間が必要である。
- ・ ヨシ原が広がって、連続すれば、水辺の鳥類の生息環境になりうる。
- ・ 植生が繁茂していた方が、節足動物の個体数は多い。
- ・ 垂直に近い角度で切り土を行い、1.5m～2m程度の小さな崖のような環境を部分的に創出することができれば、カワセミが営巣場所として利用する可能性がある。
- ・ ナガエツルノゲイトウなどの外来植物の防除が課題としてあげられているが、地域住民が参加して実践できる対策はないだろうか。地域住民が地域の環境に関わる機会をつくっていいとよい。
- ・ カヌーに乗って水面から見た場合に、堤防の前に植生があった方が、景観としてよい。



今後の方向性

- ・ 旧吉野川津慈地区河川整備事業地において、試験施工を実施し、設計時に設定した地盤高や形状の妥当性、水深・植生・食物となる生物の生息状況等を確認する。
- ・ 旧吉野川の津慈地区以外に河道掘削が予定されている地区において、ワーキングでの意見も考慮して、事業の検討を行う。

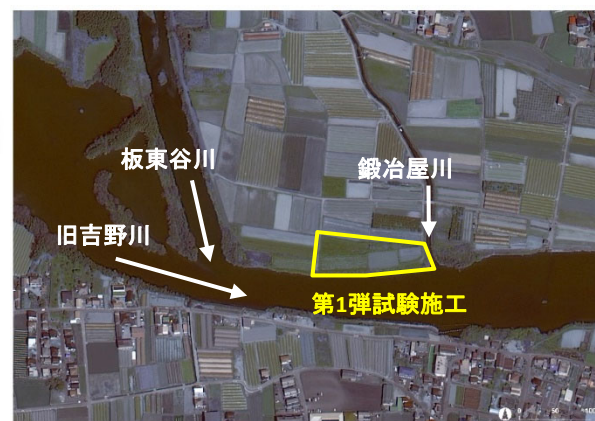
第2回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング [報告]

旧吉野川津慈地区での自然再生の推進

- 旧吉野川津慈地区では、治水対策のための河道掘削が計画されている。周辺にコウノトリの営巣地が位置していることから、河道掘削とあわせて、コウノトリの採食場となるような湿地環境を創出することを目標としている。第1弾試験施工（2024年11月～2025年3月）を実施し、設計時に設定した地盤高や形状の妥当性、水深・植生・食物となる生物の生息状況等を確認する予定である。



津慈地区周辺の状況



第1弾試験施工の実施範囲

[写真: 徳島河川国道事務所]



第1弾試験施工の実施状況（2025年1月）

[写真: 徳島河川国道事務所]

第2回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング [報告]

旧吉野川で津慈地区以外に河道掘削が予定されている地区に関する検討

- 旧吉野川では、津慈地区の上下流に位置する勝瑞・川崎地区、乙瀬地区、大寺地区において、治水対策のための河道掘削が予定されている。今後の事業の検討にあたって、第2回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングでの意見を活かす。



旧吉野川における河道掘削の予定地
「淡色地図データ」(国土地理院)、「国土数値情報(行政区画データ)」(国土交通省)をもとに作成



勝瑞・川崎地区



乙瀬地区



大寺地区

第10回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

- 2024年12月3日に第10回鳴門地区地域・人づくりワーキングを開催し、地域・人づくりに関連する取組状況を情報共有するとともに、普及啓発パネルの展示及び動画を活用した普及啓発、大規模集客イベントを見据えた普及啓発・情報発信に関して意見交換を行った。

〈2024年度〉

第10回鳴門地区地域・人づくりワーキング (2024年12月3日)

【主な内容】

- ・ 地域・人づくりに関連する取組状況について
- ・ 大規模集客イベントを見据えた普及啓発・情報発信について



ワーキングの開催の様子

鳴門地区地域・人づくりワーキングメンバー

田村 耕一	(一社) イーストとくしま観光推進機構 協議会長 ◆座長
柴折 史昭	認定NPO法人とくしまコウノトリ基金 事務局長
加守 寛士	(一社) イーストとくしま観光推進機構 事務局次長
渡辺 晃	(一社) ツーリズム徳島 理事
河口 洋一	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授
藤川 浩	JA徳島県 常務理事 (徳島北地区担当)
藤井 優希	NPO法人れんこん研究会 理事長
塩崎 桂子	アオアヲナルトリゾート アシスタントセールスマネージャー
天野 裕己	(一社) 鳴門市うずしお観光協会 次長
五島 寛治	大麻町商工会 会長
峯 光一	徳島県生活環境部サステナブル社会推進課 主任
井内 泰	徳島県観光スポーツ文化政策課 観光プロモーション担当
太子 正充	鳴門市産業振興部農林水産課 副課長
戸島 慶祝	鳴門市産業振興部観光振興課 副課長

(2024.12.3時点)

第10回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

- 第10回鳴門地区地域・人づくりワーキングでは、下記の意見があった。

主な意見

コウノトリ生息地（営巣地周辺）の情報発信について

- ・ 観察時の駐車場やコウノトリの観察ポイントの関係者への周知が必要である。
- ・ コウノトリ周辺の立ち入り禁止区域がわかりづらい。

大阪・関西万博を見据えた普及啓発・情報発信の取組について

- ・ コウノトリに関するQ&Aの作成にあたっては、徳島県内に在住している外国人にヒアリングし、外国人の視点を取り入れた方がよい。
- ・ 外国人旅行者にとって一番役立ったものとして地域の観光案内所があげられている。地域の細かい情報を発信する役割としては観光案内所が一番重要なところである。徳島駅前のアミコの観光案内所や鳴門駅前の観光案内所での情報発信のツールを整備する必要があるのではないか。

ワールドマスタースゲームズ2027関西を見据えた普及啓発・情報発信の取組について

- ・ ワールドマスタースゲームズ2027関西においても、外国人に向けてコウノトリの情報を発信していくことが必要ではないか。

大鳴門橋自転車道の完成を見据えた普及啓発・情報発信の取組について

- ・ 「鳴門市レンタサイクル」の事業が行われており、大麻地区にも配車ステーションがあったと思う。周知していくことで、さらにレンタサイクルの利用者が増えるのではないか。

コウノトリれんこんの普及啓発・情報発信について

- ・ 徳島県・とくしまブランド推進機構が行っている「阿波ふうどスペシャリスト」の取組のなかで、阿波ふうどとして、鳴門のレンコンに関する投稿を行っていくとよいのではないか。
- ・ 農林水産省も生き物ブランドに力を入れていこうとしているので、農業者の方々のインセンティブになることを関係省庁とも連携して取り組めるとよい。

今後の取組

- ・ コウノトリ生息地（営巣地周辺）のルールやマナー等の情報発信を検討する。
- ・ 関係機関と調整を図り、パネル展示等の普及啓発・情報発信の取組を引き続き行う。
- ・ 鳴門地区のコウノトリや関連する取組の認知度を高めていくために、徳島県外から多くの人を訪れる大規模集客イベント〔①大阪・関西万博（2025年開催）、②ワールドマスタースゲームズ2027関西（2027年開催）、③大鳴門橋自転車道完成（2027年完成予定）〕を見据えて、普及啓発・情報発信を行う。

第10回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

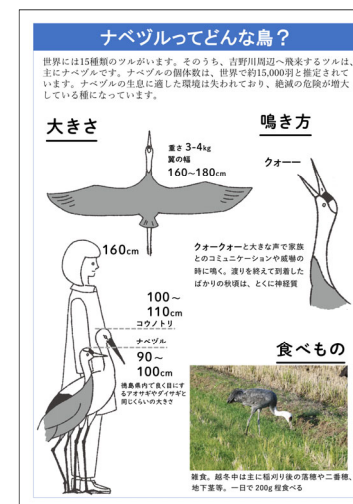
普及啓発パネルの展示及び動画を活用した普及啓発

- コウノトリやツル類の普及啓発、情報発信のため、これまで作成したパネルや動画の展示、放映を各施設と調整している。

- ・ これまでに、コウノトリの普及啓発パネル「こうのとりの徳島県へ」（日本語版・ドイツ語版）・コウノトリの普及啓発動画、ツル類の普及啓発パネルを作成している。
- ・ コウノトリの繁殖時期（2025年3月～6月）に、コウノトリの普及啓発パネルの展示や動画の放映を行うために、各施設の管理者との調整を進めている。
- ・ ツル類の飛来時期（2025年11月～2026年2月）に、ツル類の普及啓発パネルの展示を行うために、各施設の管理者との調整を進めている。

普及啓発パネルの展示に向けた調整を行っている施設

調整先の施設	展示・放映を依頼するもの
阿波銀行本店 1階	・ コウノトリの普及啓発パネル
とくしま動物園	・ コウノトリの普及啓発パネル ・ ツル類の普及啓発パネル
徳島大学	・ コウノトリの普及啓発パネル
四国大学	・ コウノトリの普及啓発パネル
徳島文理大学	・ コウノトリの普及啓発パネル
鳴門市役所	・ コウノトリの普及啓発パネル
大鳴門橋架橋記念館エディ	・ コウノトリの普及啓発パネル



動画の放映に向けた調整を行っている施設

調整先の施設	展示・放映を依頼するもの
道の駅くるくるなと	・ コウノトリの普及啓発動画
道の駅第九の里	・ コウノトリの普及啓発動画
鳴門市観光情報センター	・ コウノトリの普及啓発動画
鳴門エエとこクラブ	・ コウノトリの普及啓発動画



第10回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

①大阪・関西万博：外国人旅行者を対象とした普及啓発・情報発信

- 大阪・関西万博の開催期間中（2025年4月13日～10月13日）に、鳴門市への外国人旅行者の増加が見込まれるため、コウノトリの普及啓発パネル、動画の英語版を作成して、鳴門市内の施設等で展示、放映することを調整、実施する。また、普及啓発パネル、動画の英語版を見た外国人旅行者からの質問に答えられるようQ&A（英語版）を作成して、鳴門市内の施設等での窓口対応の際に活用してもらう。

- コウノトリの普及啓発パネル「こうのとりの徳島へ」、普及啓発パネルを編集した動画（約4分間）を英語に翻訳し、コウノトリの普及啓発パネル、動画の英語版を作成する。
- 外国人旅行者の訪問が想定される施設等で、コウノトリの普及啓発パネル、動画の英語版の展示、放映をする。
- 普及啓発パネル、動画の英語版を見た外国人旅行者から質問があった場合に、窓口等で回答できるように、Q&Aを作成して、普及啓発パネル、動画の英語版を展示・放映する施設に配布する。



第10回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

①大阪・関西万博：外国人旅行者を対象とした普及啓発・情報発信

- 第10回鳴門地区地域・人づくりワーキングでの意見も踏まえて、コウノトリの普及啓発パネル（英語版）・動画（英語版）、Q&Aの作成、配布を行う予定である。

- コウノトリの普及啓発パネル、動画の英訳を行ってレイアウトし、2025年2月中に英語版を作成する。
- 2025年3月に各施設へ配布し、2025年4月から英語版のコウノトリの普及啓発パネルの展示、動画の放映が行われるようにする。

項目	2024年	2025年			
	12月	1月	2月	3月	4月
Q&Aの日本語原稿の作成					
パネル、動画、Q&Aの英訳					
英語版のパネル、動画、Q&Aの作成					
英語版のパネル、動画、Q&Aの配布					
大阪・関西万博の期間中 (2025年4月13日～10月13日) に活用					

- コウノトリの普及啓発パネル（英語版）・動画（英語版）やQ&Aは、大阪・関西万博だけでなく、ワールドマスターズゲームズ2027関西や大鳴門橋自転車道完成でのインバウンド対応でも活用する。

第10回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

②ワールドマスタースゲームズ2027関西：大会参加者を対象とした普及啓発・情報発信

- ワールドマスタースゲームズ2027関西には、徳島県で開催される競技に参加するために、県外から30才以上の成人・中高年の一般アスリートが来県する。大会参加者を対象として普及啓発・情報発信を行うことにより、鳴門地区のコウノトリや関連する取組の認知度の向上やコウノトリ応援商品の販促につなげたいと考えている。

ポスター、チラシ等の広報資料の作成、掲示

- 大会参加者に対して、鳴門市内のコウノトリやコウノトリ応援商品の仕組みを知ってもらうために、ポスター、チラシ等の広報資料の作成を検討する。また、マスタースビレッジ徳島、徳島県内の競技会場でのポスター等の掲示を調整する。また、ワールドマスタースゲームズ2027関西のウェブサイトもしくはリンク先のウェブサイトへの広報資料の掲載を調整する。
- ポスター、チラシ等の広報資料には、二次元コードを掲載して、ガイドブック「あわのくにコウノトリ HANDBOOK」を見ることができるようにする。

コウノトリ応援商品を購入することが、コウノトリの生息環境の向上と地域事業者の利益につながる。



コウノトリ応援商品（一例）



[画像出典：認定NPO法人とくしまコウノトリ基金ウェブサイト]

第10回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

②ワールドマスタースゲームズ2027関西：大会参加者を対象とした普及啓発・情報発信

- 第10回鳴門地区地域・人づくりワーキングでの意見も踏まえて、鳴門市内のコウノトリやコウノトリ応援商品の仕組みを知ってもらうためのポスター、チラシ等の広報資料を作成、掲示の調整を行う予定である。

- 2025年度にポスター、チラシ等の広報資料（案）を作成し、鳴門地区地域・人づくりワーキングにおいて意見交換を行う。
- 2025年度～2026年度にマスタースビレッジ徳島、徳島県内の競技会場等での広報資料の掲示または設置を調整し、配布する。
- 2027年5月から、施設において、広報資料が掲示、設置されるようにする。

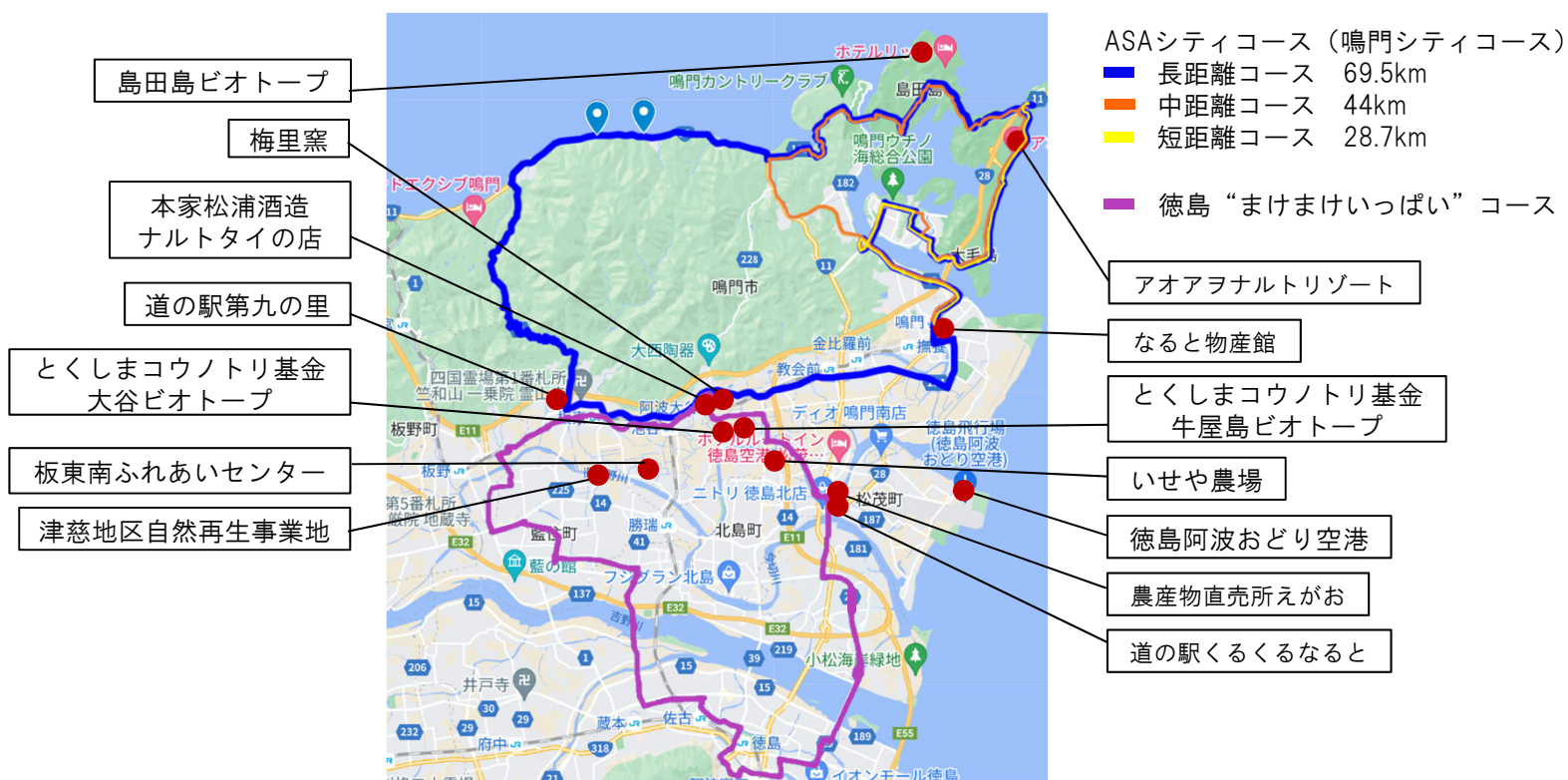
項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
取組内容の検討	→			
ポスター、チラシ等の広報資料の作成		→		
ポスター、チラシ等の広報資料の掲示の調整		→	→	
ポスター、チラシ等の広報資料の配布			→	
ワールドマスタースゲームズ2027関西の期間中 （2027年5月14日～5月30日）に活用				→

第10回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

③大鳴門橋自転車道完成：サイクリストを対象とした普及啓発・情報発信

- 大鳴門橋の自転車道が完成すれば、鳴門市へ多くのサイクリストが訪れ、鳴門市内を通るサイクリングコースを利用することが想定される。サイクリストを対象として普及啓発・情報発信を行うことにより、コウノトリに関連する場所への立ち寄りにつなげたいと考えている。

- 既存のサイクリングコースから近接して、コウノトリに関連する場所やコウノトリ応援商品の販売場所がある。そのため、サイクリストの興味・関心を引くことができれば、コウノトリに関連する場所やコウノトリ応援商品の販売場所に寄ってもらえる可能性がある。
- サイクリストに対して、コウノトリに関連する場所やコウノトリ応援商品の販売場所の情報を提供するポスターやチラシを作成する。また、詳細な位置情報を提供するために、コウノトリに関連する場所やコウノトリ応援商品の販売場所を掲載したGoogleマイマップを作成する。



既存のサイクリングコースとコウノトリに関連する場所やコウノトリ応援商品の販売場所

[出典 <https://www.naruto-cycle.com/> https://www.tokusupo.net/bicycle/course/central_04.html]

第10回鳴門地区地域・人づくりワーキング [報告]

③大鳴門橋自転車道完成：サイクリストを対象とした普及啓発・情報発信

- 第10回鳴門地区地域・人づくりワーキングでの意見も踏まえて、コウノトリに関連する場所やコウノトリ応援商品の販売場所の情報を提供するポスターやチラシを作成する予定である。

- 2025年度にGoogleマイマップ（案）、ポスター・チラシ（案）を作成し、鳴門地区地域・人づくりワーキングにおいて意見交換する。
- 2025年度以降、Googleマイマップは、適宜情報を更新する。
- 2025年度～2026年度にポスターの掲示やチラシの設置を調整し、配布する。

項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
取組内容の検討	→			
Googleマイマップの作成		→	適宜更新 →	→
ポスター、チラシの作成		→		
ポスター、チラシの掲示の調整		→	→	
ポスター、チラシの配布			→	
大鳴門橋自転車道完成後に活用				→